

# 小林徳三郎 福山が生んだ異才の洋画家、その豊かな軌跡

## 4月11日(土)ー6月7日(日)

前期:5月6日(水・休)まで 後期:5月8日(金)から

休 館 日=月曜日 ※5月4日(月・祝)は開館、5月7日(木)は休館  
開館時間=9:30~17:00  
観 覧 料=一般1,500円(1,200円)、高校生以下無料 ※( )内は前売りまたは有料20名以上の団体料金  
リピート前売り券2,000円 ※会期中2回観覧できます

小林徳三郎(1884-1949)は、大正から昭和期にかけて活躍した福山出身の洋画家です。画業初期には、前衛美術家集団・フウフザン会に参加し、その後は春陽会を中心に、小魚を描いた静物画や自身のこどもたちなど身近な情景を題材とした作品を出品し、高い評価を得ました。何気ない日常を洒落な描線と素朴な色彩で捉えた絵画は、今も私たちの心に響きます。本展は、300点を超える作品・資料で小林徳三郎の豊かな軌跡を辿る初の大回顧展です。



小林徳三郎《金魚を見る子供》1928年 東京国立近代美術館

# 「オバケ?」展

## 7月11日(土)ー9月23日(水・祝)

休 館 日=月曜日 ※7月20日(月・祝)、9月21日(月・祝)は開館、7月21日(火)は休館  
開館時間=9:30~17:00 ※8月1日(土)、8日(土)、15日(土)、22日(土)、は19:00まで開館  
観 覧 料=一般1,500円(1,200円)、高校生以下無料 ※( )内は前売りまたは有料20名以上の団体料金

古今東西、さまざまな呼び名で存在してきたオバケ。会いたくはないのに、ちょっと会ってみたい。その名を聞いただけでワクワクする「オバケ」をキーワードに楽しみ尽くす展覧会です。オバケを探知し作品化する「オバケ研究所」が設立されるほか、「オバケ屋敷」、「オバケ湯」、オバケに変身する「オバケ工場」など、親子で楽しむ企画も盛りだくさん。見て、感じて、知って、なる。新しさが満載の体験型展覧会です。



© 2026 A.T. & T.T.

# 千住博展ー静寂の光、水の鼓動

## 10月3日(土)ー12月13日(日)

休 館 日=月曜日  
※10月12日(月・祝)、11月23日(月・祝)は開館、10月13日(火)、11月24日(火)は休館  
開館時間=9:30~17:00  
観 覧 料=一般1,500円(1,200円)、高校生以下無料 ※( )内は前売りまたは有料20名以上の団体料金

雄大なスケールの滝や崖の作品で知られる日本画家・千住博(1958-)は、ニューヨークを制作拠点に国際的に活躍しています。本展では街並風景を描いた初期の作品をはじめ、代名詞である「ウォーターフォール」シリーズや、江戸時代の製地とコラボレーションし、伝統と革新を融合させた作品などを厳選してご紹介します。崇高な自然と真摯に対峙し、地球のエネルギーや生命力をさまざまに描き出す千住博の世界を心ゆくまでご堪能ください。



千住博《ウォーターフォール・オン・カラース》2023年 廣澤美術館

# 新刀・東西の巨匠 虎徹と助広

## 2027年1月24日(日)ー3月22日(月・休)

前期:2月21日(日)まで 後期:2月23日(火・祝)から

休 館 日=月曜日 ※3月22日(月・休)は開館  
開館時間=9:30~17:00  
観 覧 料=一般1,500円(1,200円)、高校生以下無料 ※( )内は前売りまたは有料20名以上の団体料金

江戸時代の刀剣文化を代表する二大名工に長曾祢虎徹や津田越前守助広が挙げられます。都市形成に伴い、二大作刀地となった江戸と大阪。そこに刀剣需要と文化が生まれ、虎徹は江戸で、助広は大坂で活躍しました。本展では、虎徹および助広の重要文化財を含む代表的作例を通観・比較しながら、両者の作風の成立とその変遷を紹介します。さらに、刀剣を通して浮かび上がる東西における刀剣文化の差異と共通性を立体的に捉え、近世刀剣史の一端を紐解きます。



重要文化財【刀 銘 長曾祢興里入道虎徹】個人蔵(刀剣博物館寄託) ※前後期展示替えあり



重要文化財【刀 銘 津田越前守助広/延宝七年二月日】個人蔵(刀剣博物館寄託) ※前後期展示替えあり

# 追悼 松本コレクション ー茶の湯の精華ー

## 『商工ふくやま』数寄者の一品より 2026年10月4日(日)ー10月30日(金)

休 館 日=月曜日 ※ただし、10月4日(日)は、12:00より開場  
開館時間=9:30~17:00  
観 覧 料=無料  
会 場=1階 ギャラリー

福山市名誉市民であり、福山商工会議所名誉会頭であった故・松本卓臣氏(1920-2025)を顕彰し、同氏が収集した茶道具コレクション約50点を展示します。



樂宗入《赤染茶碗 銘老葉子》江戸時代

# 第56回世界児童画展

## 8月1日(土)ー8月9日(日)

世界の児童画と、国内・県内の児童・生徒の優秀作品を展示します。



# 第18回ふくやま子ども「生きる」美術展

## 2027年1月2日(土)

### ー1月11日(月・祝)

児童・生徒のそれぞれの「生きる」をテーマとして個性豊かに描いたみずみずしい作品の中から、受賞作品を展示します。



# スクール・プログラム 《小中学生対象プログラム》



観察力・コミュニケーション力を高める「対話型」や知識・教養を深める「ガイド形式」の鑑賞プログラムなど、ご希望に応じてご提案します。

お問い合わせ:ふくやま美術館 TEL.084-932-2345  
(火~日曜日の8:30~17:00)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2027年1月	2月	3月
4/11~ 特別展「小林徳三郎 福山が生んだ異才の洋画家、その豊かな軌跡」 4/3~		6/7 6/28	7/11~ 特別展「オバケ?」展		9/23 9/23	10/3~ 特別展「千住博展ー静寂の光、水の鼓動」		12/13 12/13	1/2~1/11 1/2~	1/24~ 特別展「新刀・東西の巨匠 虎徹と助広」	3/22 3/28
	春季所蔵品展「生きものせかい」		7/3~ 夏季所蔵品展「物語る美術」			9/26~ 秋季所蔵品展「絵本と芸術家」					冬季所蔵品展「ウチラのパワー!」